

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. N-43)  
「女子大生が持ち歩いているお菓子の実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「持ち歩いているお菓子の実態」について写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学(担当：竹内光悦)」、「経営学(担当：篠崎香織)」、「マーケティング(担当：斎藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

#### 総括

今回の写真観察を通して多くの女子大生がお菓子を持ち歩いていることがわかった。持ち歩いているお菓子は手軽に食べられ、持ち歩きやすい小さめのお菓子が多かった。スナック菓子は少なかったが、スナックが菓子の中では、「じゃがりこ」が多かった。また、ガムやタブレットのようなエチケット系のお菓子は、多くの人が持っていた。

#### 調査結果のポイント

##### (1) チョコレートが人気

多くの学生がお菓子を持っていたが、種類別に見ると、チョコレートを持っている学生が最も多かった。低価格で販売されているお菓子を持っている学生も多かったが、一方で、明治の「THE Chocolate」などの、比較的値段が高く高級志向のお菓子を持っている学生も見られた。今回の調査対象は大学生であるため、アルバイトをしている学生が多いと考えられ、やや価格の高いお菓子であっても購入が可能だと考えられる。

##### (2) エチケット系のお菓子を持ち歩く学生が多い

ミント味のガムやタブレットなどの、エチケット目的のお菓子を持っている学生が多かった。ミント味以外の他製品とコラボした期間限定の味のものもあったが、ミント系の味のものを持っている学生がほとんどであった。中には、同じ味のことを複数個持っている学生もおり、甘味としてのお菓子というよりはエチケット製品として常備している場合が多いと考えられる。これは、口のおいに気を遣う女性ならではの結果だと考えられる。

##### (3) 持ち運びやすさ重視

今回調査した中で多かったのが、小さめのパッケージで、鞆に入れて持ち運びやすいお菓子であった。また、チャック付きのパッケージのお菓子を持っている学生も多く見られ

た。このタイプはグミのパッケージとして採用されている場合が多いが、チョコレートでも採用したのも販売されている。調査で得られた結果の中でもグミが大半であったが、チョコレートでチャックが採用されているものを持っている学生も数名見られた。チャック付きのものだと鞆の中に入れて持ち運ぶ際に中身が出る心配がないため、持ち運びやすく、学生に人気なのだと考えられる。

#### (4) スナック菓子を持っている学生は少ない

種類別に見て、スナック菓子を持っている学生は少なかった。スナック菓子は袋状のパッケージの場合が多く、持ち運ぶには場所をとるため、持ち歩く学生は少ないと考えられる。スナック菓子をっていた学生は、「じゃがりこ」などの鞆に入れやすいスリムな縦型のデザインのものである場合が多かった。また、調査時に得られた観察から、袋状のパッケージのお菓子は、一つを3~4人で分け合いながら食べる場合が多いと考えられる。

#### 調査概要

- 調査対象：実践女子大学生 1~4 年生、119 人
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2017 年6月2日~6月23日
- 調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス
- 回答者の属性：実践女子大学生 1~4 年100%
- 調査目的：実践女子大学生のお菓子のトレンドを見るため、持っているお菓子について調査を行った。
- 調査主体および本調査担当：実践「ペルソナ」研究会
  - 調査員：折茂美玖、兼子千穂、白石透香

#### 調査結果

調査で得られた写真資料から、女子大生の持っているお菓子は以下のように種類別に分けることができた。

#### 【飴（チューイングキャンディーを含む）】





【ガム】



【タブレット】



【グミ】



【チョコレート】





【クッキー・ビスケット】



【スナック菓子】





### 【その他のお菓子】



調査をした結果、女子大生が持っているお菓子で最も多かったものはチョコレートであった。調査時に得られた個数は26個で、全体の21%であった。次に多かったタブレット、飴は、19個ずつ得られ、それぞれ全体の15%を占めていた。その他、ガムやグミも多かった。その他にはクッキーやビスケットも多かったが、全体として小さいものが多かったため、持ち運びのしやすさが重視されていると考えられる。

チョコレートが最も多かったが、中でも、明治の「THE Chocolate」を持っている学生が多かった。これは、価格が他のチョコレートより高いものの、話題性や質が重視され、選ばれたのではないかと考えられる。また、チョコレートは、小さいパッケージのものが多く販売されており、チャック式のものも登場しているため、持ち運びの点でも都合が良く、人気が高いのではないかと考えられる。

一方、スナック菓子を持っている学生は少なかった。その要因としては、持ち運びの際に鞆の中でかさばる点や、他のお菓子に比べて塩分やカロリーが高いことなども関係していると考えられる。スナック菓子を持っていた学生は、一つのお菓子を複数名で分けて食べていた場合が多かったため、持ち運びには適していないが、友人などと食べる場合に購入する学生が多いのではないかと考える。

また、全体として、タブレットやガムなどのエチケット目的のお菓子が多かった。ミント味のものを持っている学生が多かったことから、甘味としてのお菓子というだけではなくエチケットとして持っている場合が多いと考えられる。また、これらは持ち歩きやすく、1つのパッケージに個包装で複数個入っていることに加えて、手軽に食べられるという点でも支持されているのではないかと考えられる。